

# 第5学年〇組 体育科学習指導案

令和4年11月4日(金) 第6校時 体育館  
 在籍児童数 男子〇〇名 女子〇〇名 合計〇〇名  
 所沢市立上新井小学校 教諭 〇〇 〇〇

## 1 単元名「1, 2パス! 1, 2シュート!」(ボール運動 ゴール型 ポートボール)

### 2 運動の特性

#### (1) 一般的特性

○高学年のボール運動は、「ゴール型」,「ネット型」及び「ベースボール型」で構成され,ルールや作戦を工夫したり,集団対集団の攻防によって仲間と力を合わせて競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことができる運動である。その中でも「ゴール型」は,攻守が瞬間的に入れ替わるという特性や,ボールを持たない時の動きが重要となる運動でもある。

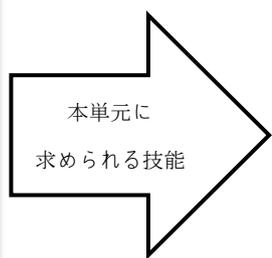
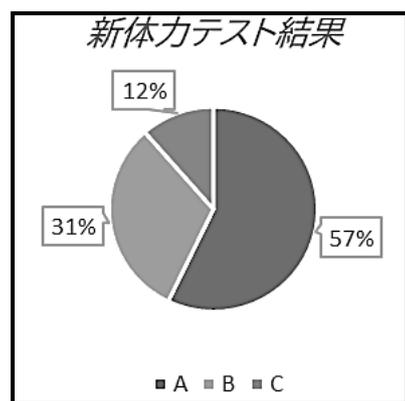
○ポートボールはバスケットボールと似たコートで行われるボール運動である。シュートはリングではなく,台上の味方へ向けて放ち,キャッチをしたら得点となる。バスケットボールと比べ,ゲームの難易度は低くなる一方で,キャッチやパスの技能やボールを持たない時の動きに関してはバスケットボール同様重要となる運動である。

#### (2) 児童から見た特性 (7/19 ポートボール体験後の児童感想より)

| ポートボールの楽しさや喜びを感じる要因  | ポートボールを遠ざける要因  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チームで協力し,得点を決めたとき</li> <li>・ 味方へのパスが繋がったとき</li> <li>・ 相手のパスをカットしたとき</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつの間にか相手に囲まれて怖かったとき</li> <li>・ ディフェンスがうまくいかなかったとき</li> <li>・ ドリブルがうまくいかず相手に取られたとき</li> <li>・ キャッチやパスが上手くできないとき</li> </ul> |

### 3 児童の実態

#### (1) 知識及び技能



|                  | 男子        | 女子        |
|------------------|-----------|-----------|
| 反復横跳び            | 53回 (42回) | 54回 (41回) |
| 20mシャトルラン        | 58回 (52回) | 54回 (43回) |
| ボール投げ            | 20m (19m) | 15m (13m) |
| ( )内は県平均・小数点以下切捨 |           |           |

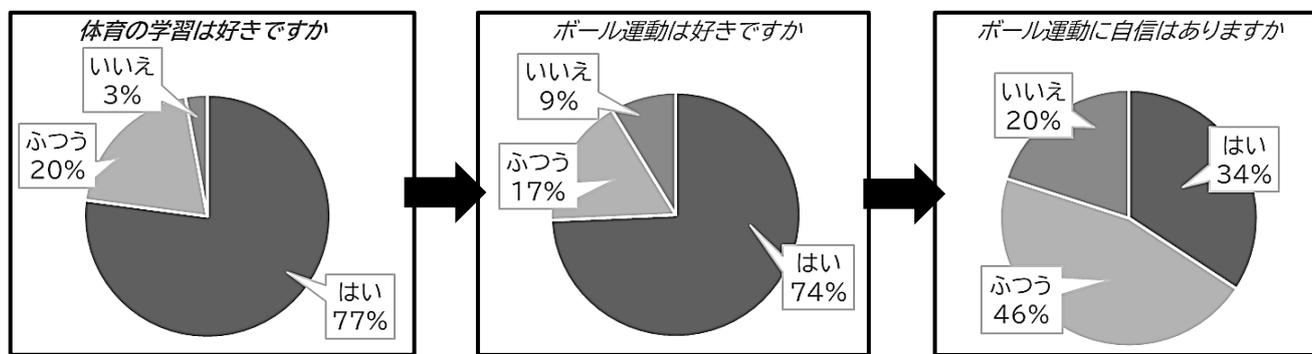
まず,ポートボールを知っている児童がどの程度いるか調査したところ,全員が「知らない」と回答した。「バスケットボール」と言葉を変えると,多くの児童が「知っている」と回答した。バスケットボールに類似した運動でありながら,リングにボールを入れるものではないことを伝えると,「点が入りやすそうだ」という声が挙がった。しかし,具体的なルールに関しては理解していない児童がほとんどである。次に,今年度実施の新体力テストの結果は上記の通りである。本学級における児童は,新体力テストの結果A+B+C評価の児童の割合が100%であることから,各種運動を行う上での基礎体力は高い。また,ポートボールの実施に際し,必要となる基礎技能を3点に絞り,県平均と比較したところいずれにおいても県平均を上回る結果となった。最後に,本学級の

児童は日常からドッジボールに取り組むことが多い。基本的なボール操作（主としてパスやキャッチ）を身に付けている児童が多い。しかし、7月末に実施したプレゲームを観察したところ、本単元において重要となる「動きながらのボールのパスやキャッチ」に関しては技能に差が見られ、大きな課題が見られる児童が8名いた。

### (2) 思考力、判断力、表現力等

1学期の体育学習では①陸上運動（短距離走・リレー）②マット運動③水泳運動④表現運動の大きく4つの単元を実施した。マット運動や水泳運動では、児童の課題に応じた場の設定を行ったり、各運動のポイントカードを用いたりすることで、思考・判断・表現の力を育ててきた。思考・判断・表現における評価上位の児童は、自己の課題を解決するために必要な場の選択や補助用具の使用、ポイント等の伝え合いの様子が見られた。また、ICT 機器を活用し、自らの技能の伸びを確かめたり、友達へのアドバイスの材料にしたりする様子も見られた。振り返りの記述からも「友達にアドバイスをしてもらった」や「友達にコツを伝えたら技ができるようになった」といったねらいに正対した記述を行う児童が増えたことが分かる。本単元が5学年として初めてのボール運動領域の扱いとなるが、昨年度実施したラインサッカーやプレルボールの経験から、チームスポーツにおける連携や役割分担の重要性については理解している児童が多い。

### (3) 学びに向かう力、人間性等



事前に実施した意識調査の結果から、本学級の児童の体育学習に関する意識について述べる。まず、児童の多くが体育学習に対しそれほど嫌悪感を抱いていないことが分かる。理由として、「できないことができた時に気持ちがいい」や「友達と協力する場面が多いから楽しい」などの意見が多く見られた。次に、「ボール運動は好きか」という質問に対しても「はい」と答えた児童の割合が多いことが分かる。理由として、「連携プレーが上手くいった時が嬉しい」や「協力して得点した時が気持ちいい」さらには「応援するのが楽しい」などの意見が見られた。一方で「いいえ」と答えた児童の割合が増えている点にも注目したい。理由として、「なかなかボールに触れる機会が少ない」や「基本的なボール操作が苦手」「当たった時が痛いから」などの意見が見られた。最後に「ボール運動に自信があるか」との問いに対し、「はい」と答えた児童は学級の半分に満たなかった。多くの理由として、「上手く得点できない」や「相手にボールを取られてしまう」などの技能的な意見、「試合でどこに動けばよいか分からない」「作戦を話し合っても上手くいった実感があまりない」「味方にアドバイスをする勇気がない」などの思想的意見も見られた。先述した通り、攻守が瞬間的に切り替わる部分に困惑している児童も多いことが考えられる。

## 4 教師の指導観

本単元の指導にあたり、本来中学年で扱うポートボールを採用した。理由は2点ある。1点目が経験不足である。新型コロナウイルス感染症の流行により、本学年の児童が3年生の際、タグラグビーの学習をほとんど行えていないという実態がある。2点目が簡易化をもとにした楽しさの追究という視点である。そこから用具やルールについて簡易化させたものを扱い、指導要領に求められる動きに近づけるとともに、「ボール運動は楽しい」と思ってもらえるような単元にしたいと考えた。この2点を念頭に指導したい。

### (1) 知識及び技能

まず、知識について3点指導する。1点目はポートボールに必要な動きについてである。2点目はルールの徹底である。ゴール型は攻守が激しく入れ替わる運動である。その中で児童が適切に判断し行動に移すことができるよう各種のルールを実際の動きの中で確認していく。3点目は役割分担の重要性について改めて理解させることである。ゲームを円滑に進めるためには審判や得点板、キャッチマンやガードマン等の役割分担が重要であることを理解させる。小学校体育における運動を「する・みる・支える・知る」考え方を児童自身に体感させたい。以上、知識に関しては、単元序盤に確実に押さえることとする。次に、技能について2点指導する。1点目は基本的なパスやキャッチ、ピボット等の技能である。毎時行うドリルゲームを通して、動きの中での基本的動作の習得を目指す。2点目はボールを持たない時の動きの習得である。ゴール型においては、ボールを持たない時の動きが重要となるため、タスクゲームや試しのゲームを中心に技能の向上を図る。技能面における評価は単元の終盤で行う。

### (2) 思考力, 判断力, 表現力等

ポートボールを体験した児童の感想から「いつの間にか相手に囲まれたので恐怖を感じた」や「ドリブルが上手いかず相手にボールを奪われた」などの意見が多く見られた。児童と話をした中で、「ドリブルをなくしてゲームしてみたい」という意見をもとにドリブルなしのゲームをしたところ「安心してプレーができるようになった」と多くの児童が答えた。このことから、運動の特性を失わずに、より楽しめるようなルールを適宜工夫する。また、単元の中盤におけるタスクゲームや試しのゲームから自チームの特徴を明確にする。その際 ICT 機器を活用し、プレーの様子を2階から撮影する場面を設ける。撮影の仕方は試しのゲームを兄弟チームに撮影してもらおう方法をとる。自分たちの動きを俯瞰的に見ることで攻撃や守備の特徴を捉えやすくするためである。映像資料をもとに各チームで話し合い、作戦を選択できるように促す。本単元で取り扱う作戦は、個々の動きを細かく決めるものではなくチーム全体における大まかな動きについて取り扱う。攻守の切り替わりの激しいゴール型については、作戦が上手いといった実感できる機会が少ない。そこで、攻撃面では「ボール保持者より前に行こう作戦」や「ロングパス作戦」などといった作戦を、守備面では「パスカット作戦」や「ゴール前かべ作戦」などといった「誰もがイメージしやすく実行に移し易い作戦にしよう」と児童に声掛けを行う。また、ゲームにおいては選んだ作戦のみに固執しないよう注意する。

#### 【児童の意見をもとにしたオリジナルルール】

○ドリブルをしてはならない

○相手のボールを取れるのはパスをカットするか 相手が被弾をした時のみである

### (3) 学びに向かう力, 人間性等

本単元は個人技能もさることながら、チームでの協働場面が非常に多い。集団対集団だからこそ、ゲームのルールを順守したり、友達と協力して場や用具の安全に気を配ったりしながら主体的に活動している児童を称賛していく。また、先述した通り、役割分担の重要性が授業内容の充実化に大きく影響することを踏まえ、授業時間外に次時の役割分担を話し合わせる。また、兄弟チーム制を採用することによって、仲間のプレーの質や気持ちを高める言葉かけ、励まし合いといったチームスポーツならではの楽しさや関わり方に気付かせる。

## 5 研究主題との関わり

### 自己の目標に向け、主体的に体力の向上に努める児童の育成 ～体育学習や家庭との連携を通じた手立ての実践～

#### (1) 研究テーマ設定の理由

埼玉県の小学校体育科の課題として「運動が好き」「体育の授業が楽しい」と感じている児童の割合が全国平均以下となっている点が挙げられる。運動技能についても二極化が進み、自ら進んで運動に取り組もうとする児童の割合が減少している点も考えられる。本校においても、上記の傾向が当てはまる。加えて、令和3年度当初に実施した児童の意識調査から、ねらいや自分のめあてがはっきりしない学習が多く展開されていることが分かった。単元の初めと終わりにおいて児童自身が「こんなことができるようになった」「友達と協力したらこんな結果につながった」などの達成感や充実感を味わうためには、児童一人一人の主体性を高めることが重要だと考えた。主体性の1つの考え方として、自己やチームの課題を明確にし、それに向けた運動負荷の調整と粘り強い継続性が本校児童にとっての喫緊の課題であると考え、研究主題を設定した。本校においては、自己やチームの現状を理解し、課題を決め、それに向けた手立てを実践し、成長の喜びを実感していくことの繰り返しが「運動が楽しい」と感じられる大きな要素であると考えている。

#### (2) 研究の仮説と手立て

##### **仮説① 学年や学級の実態を把握し、それに応じた授業づくり実施することで、児童の総合的な体力の向上を図れるのではないかと。**

手立て 運動の特性を味わわせつつ、「楽しい」と感じられるようなルールの工夫

手立て 体験授業から出た意見をもとにした用具の工夫

手立て 課題発見のためのICT機器の活用

手立て 自己及びチームの目標や、役割を明確にしたワークシートの工夫

##### **仮説② 新体力テストの結果をとらえ、家庭と連携した運動機会の充実を図れば、児童の体力が向上するのではないかと。**

手立て 新体力テストの種目と単元に関わる動きのつながりを意識した指導

手立て ICT機器を活用し、家庭において自己の運動を確かめ、保護者からのアドバイスをもらう

※授業については仮説①を中心に実施していく

## 6 単元の目標

- (1) ポートボールの行い方を知るとともに、周りの状況に応じた効果的なパスやキャッチ、ボールを持たない時の動きができるようにする。【知識及び技能】
- (2) チームの課題解決に必要な作戦を選んだり、お互いの動きを確認しながら運動の行い方のコツを伝え合ったりすることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) きまりや安全に気を付けて活動するとともに、チームのためにできることを見つけて活動したり、兄弟チームの支援や応援をしたりできるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

## 7 単元の評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|--|---|
| <p>①ポートボールに必要な動きやきまりを理解し、ワークシートに記述することができる。</p> <p>②安定してパスやキャッチをしたり、シュートを放ったりすることができる。</p> <p>③味方からパスを受けやすい位置に走り込んだり、相手のパスコースに走り込んだりすることができる。</p> | <p>①より多く点を取る方法を考え、仲間と伝え合ったり、ワークシートに記述したりしている。</p> <p>②失点を少なくするための方法を考え、仲間と伝え合ったり、ワークシートに記述したりしている。</p> <p>③チームに合った作戦を選び、効果について話し合ったり、ワークシートに記述したりしている。</p> | <p>①ポートボールに対し、めあてを持って積極的に取り組もうとしている。</p> <p>②学習の約束を守り、コート内外における自己の役割を果たそうとしている。</p> <p>③仲間の考えを認めたり、プレーを称賛したりしている。</p> <p>④場や用具を安全に取り扱い、準備や片付けをしている。</p> |

## 8 単元の計画(ゴール型のみ)

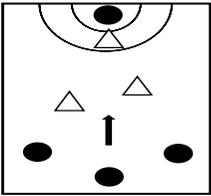
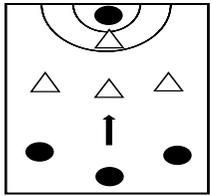
### (1) 領域の取り上げ方

| 運動 / 学年      | 3年生              | 4年生   | 5年生   | 6年生   |
|--------------|------------------|-------|-------|-------|
| ゲーム<br>ボール運動 | <del>2</del> 1時間 | 2 1時間 | 2 2時間 | 2 2時間 |

### (2) 領域の内容と目指す動き (ボール運動系 ゴール型)

| 学年  | 教材                    | 目指す動き   |
|-----|-----------------------|---|
| 3年生 | <del>タグラグビー</del>     | <ul style="list-style-type: none"> <li><del>・キャッチやパスを主とした基本的動作</del></li> <li><del>・ボールを持たない時の動きの感覚づくり</del></li> </ul> |
| 4年生 | ラインサッカー               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスやシュートを主とした基本的動作</li> <li>・パスを受けやすいスペースへの移動</li> </ul>                         |
| 5年生 | ポートボール<br>サッカー        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチやパス、様々なシュートの行い方</li> <li>・オールコートにおけるオフENS時及びディフェンス時のスペースの活用</li> </ul>      |
| 6年生 | ハンドボール<br>フライングフットボール | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したキャッチやパス、状況に応じたシュートの行い方</li> <li>・オールコートにおける細かな役割に応じた動き</li> </ul>           |

(3) 指導と評価の計画 (9時間扱い) 本時は○印 8 / 9時 (ポートボールの映像視聴は各学級で朝の学習時間を活用し視聴を行うこととする)

| 時間   | 1   | 2  | 3   | 4   | 5   | 6  | 7   | ⑧・9                             |           |
|--|---|--|---|---|---|--|---|---------------------------------|-----------|
| ねらい  | ポートボールの学習の進め方やきまり、役割分担について知ろう。  | ポートボールに必要な4つの動きを確かめよう。   | たくさん点をとる方法を考えよう。  | 相手に得点させない方法を考えよう。   | 相手に応じて作戦を選び、ゲームで試してみよう。   | 試した作戦をよりよいものにするために必要なことを話し合おう。                                 | ゲームを通し、大会へ向けて気持ちを高めよう。  | 仲間と協力して、ポートボール大会をしよう。           |           |
| 指導内容   | ・学習の進め方や約束<br>・準備や片付けの仕方<br>・試しのゲーム   | ・ドリルゲームの確認<br>・4つの動き<br>・ボールを持たない時の動き  | ・タスクゲーム①<br>・試しのゲーム   | ・タスクゲーム②<br>・試しのゲーム<br>・チームの特徴チェック  | ・作戦の選択<br>・試しのゲーム<br>・作戦の効果について話し合い   | ・試しのゲーム<br>・継続か改善かについて話し合い<br>・試しのゲーム                          | ・チームの目標確認<br>・試しのゲーム<br>・組み合わせ抽選会                                 | ・ポートボール大会について<br>・単元のふり返り (第9時) |           |
| 学習過程   | 1 上っ子体操をする。 2 本時のねらいを知る。 3 場の準備をする。 4 ドリルゲームの確認をする。 5 役割分担を確認する。 6 試しのゲームをする。 7 場の片付けをする。 8 振り返りとまとめをする。 9 整理運動をする。 10 健康観察、挨拶をする。                |  |   |   |   |  |   |                                 |           |
|  | <p>6 パス、キャッチ、ピボット、ボールを持たない時の動きのポイントを知る。<br/>※単元を通し、基本技能を高めるドリルゲームを展開していく。(ボールを持たない動きは試しのゲームも活用していく)</p> <p>7 チームごとに練習をする。</p> <p>8 試しのゲームをする。</p> | <p>6 タスクゲーム①を行う。</p>  <p>7 点をより多く取る方法を出し合う。(攻撃作戦として活用)</p> <p>8 試しのゲームをする。<br/>※ICT機器を活用し、試合の様子を撮影する。</p> | <p>6 タスクゲーム②を行う。</p>  <p>7 相手の得点を防ぐ方法を出し合う。(守備作戦として活用)</p> <p>8 試しのゲームをする。<br/>※ICT機器を活用し、試合の様子を撮影する。</p> | <p>6 作戦を選択する。</p> <p>今回は、<b>第3時と第4時</b>において出された意見をもとに攻守の作戦を教師が整理する。それをパターンとして児童に提示する。児童はそこから選択する形をとる。</p> <p>7 試しのゲームをする。</p> <p>8 作戦の効果について話し合う。</p> | <p>6 試しのゲームを行う。</p> <p>7 作戦の継続、アレンジ、変更について話し合う。<br/>※チーム内での「この作戦ならできそうだ」という感覚を大切にしたい。</p> <p>8 試しのゲームをする。</p> | <p>6 大会へ向けた目標を決める。</p> <p>7 試しのゲームをする。</p> <p>8 第1戦抽選会を行う。</p> | <p>6 各チーム円陣を組む。</p> <p>7 ポートボール大会をする。</p> <p>8 試合結果、勝ち点を整理する。</p> |                                 |           |
|   <p>ポルは習得し、やまど器物使用法。</p> <p>1/8 1/2</p> <p>月曜から金曜日まで準備時間確保済み。</p> | <p>試合の様子はチーム全体の動きが分かるよう、2F ギャラリーから撮影する。</p>   |  | <p>9 振り返りとまとめをする。 10 片付けをする。 11 整理運動をする。 12 健康観察、挨拶をする。</p>   |   |   |  |   |                                 |           |
| 評価計画   | 知・技   |  | ①   |   |   |  | ②   | ③                               |           |
|  | 思・判・表   |  |   | ①   | ②   | ③  | ③   |                                 |           |
|  | 態   | ②  | ④   |   |   |  | ③   | ①                               |           |
|  | 方法  | 観察・ワークシート  | 観察・ワークシート   | 観察・ワークシート   | 観察・ワークシート   | 観察・ワークシート  | 観察・ワークシート   | 観察・ワークシート                       | 観察・ワークシート |
|  | 場面  | 8  | 6, 7, 8, 9  | 6, 7, 9   | 6, 7, 9   | 6, 8, 9  | 7, 9  | 7, 9                            | 7, 9      |

|      | リサレ | キレンサ | フレカ | エリビタ |
|------|-----|------|-----|------|
| リサレ  |     | -    | -   | -    |
| キレンサ | -   |      | -   | -    |
| フレカ  | -   | -    |     | -    |
| エリビタ | -   | -    | -   |      |

【勝ち点について】  
勝ち………3点  
引き分け…2点  
負け………1点

## 9 本時の学習と指導(8/9時)

### (1) ねらい

身に付けた技能を生かして、ポートボール大会に取り組むことができるようにする。〈知識及び技能〉

### (2) 準備

- ・ワークシート・ビブス×40・ミニコーン×8・ストップウォッチタイマー・得点板
- ・ハンドボール用ボール・ホワイトボード・ピットナル・リズム太鼓・掲示物

### (3) 展開

| 段階        | 学習内容・活動   | 指導上の留意点 (○ ◆評価規準)  |
|-----------|---|--|
| 導入<br>5分  | 1 集合・整列・挨拶・健康観察をする。<br>2 上っ子体操をする。<br>3 場の準備をする。  | ○開始時刻と同時に学習がスタートできるよう素早く行動させるとともに、元気よく挨拶を行う。<br>○本時で使う部位を重点的にほぐすよう声かけを行う。<br>○各用具の運び方や設置の仕方を確認し安全に準備させる。   |
| 展開<br>30分 | 4 ドリルゲームを行う。<br>①ランパスリレー②三角パス③ピポットパス<br>5 本時のねらいを確認する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>仲間と協力して、ポートボール大会をしよう。</b> </div> 6 チーム内での士気を高める。<br>7 大会第1戦目を行う。<br>8 結果報告を行う。 | ○動きながらのキャッチ及びパスの行い方を重点的に指導する。<br>○大会を楽しく円滑に進行するためには、役割分担やきびきびした行動が大切であることを伝える。<br>○チームの目標、チームの作戦、個人のめあて、役割分担の4点を確認し円陣を組む。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>◆安定してパスやキャッチをしたり、空いたスペースへ走り込んだりすることができる。</b><br/> <b>(観察・学習カード)【知識及び技能】</b> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           △努力を要すると判断される状況 (C) の児童への指導の手当て<br/>           ・ボールを保持したら、まず周りやゴールを見てコート内における自分の位置を把握できるよう声掛けを行う。<br/>           ・ボールに近づくのではなく、ボールが飛んできそうな場所を予測するよう声掛けを行う。<br/>           ◎十分満足できると判断される状況 (A) の児童の具体的な姿<br/>           ・動きながらパスやキャッチを行ったり、攻守においてスペースへ走り込んだりすることができる。         </div> |
| 整理<br>10分 | 9 場や用具の片付けを行う。<br>10 学習カードに振り返りを記入する。<br>11 本時のまとめをする。<br>12 整理運動をする。<br>13 健康観察・挨拶をする。   | ○安全に片付けを行うよう声をかける。<br>○振り返りはチーム内で話し合いながら行う。<br>○結果だけではなく、どのような点で仲間と協力できたかという点にも注目するよう声をかける。<br>○手首足首を中心にしっかりとほぐすようにする。<br>○元気よく挨拶を行い、授業を終える。   |

# 使用物配置及び掲示板書計画

